

2月3日



「アイアン・フィスト23」で着地後、パラ  
シュートをたたむ陸自第1空挺団員=2023  
年3月3日、鹿児島県喜界町（米国防総省  
映像情報配信サービスDVIDS）



## 陸自空挺団300人

鹿児島県の喜界島  
(喜界町)で陸上自衛  
隊第1空挺(くうて  
い)団(習志野駐屯地  
・千葉県)の隊員約3  
00人が3月6～7  
日、横田基地(東京都)  
の米空軍輸送機を使  
いパラシュート降下訓練

# 喜界島で来月降下訓練 鹿児島 昨年の3倍規模

鹿児島

昨年の3倍規模

を実施する」とがわかれました。第1空挺団は昨年3月にも、喜界島で米空軍、航空自衛隊の輸送機3機で約100人が降下訓練を行いましたが、その3倍

の規模となります。

防衛省から横田基地周辺自治体への情報提供によるところ、横田基地

配備の米空軍C-130J輸送機5～7機に第23空挺団員約400人が、喜界島で実施される訓練は

「アイアン・フィスト23」の一環で訓練。今年も2月25日～3月17日に「アイアン・フィ

行います。昨年は揚陸作戦や空挺降下による離島制圧作戦を想定した陸自と米海兵隊の合同演習

「アイアン・フィスト23」の一環で訓練。今年も2月25日～3月17日に「アイアン・フィ

行います。

各地で実施されます。

日本共産党的長岡理一郎町議は「2年連続

で実施され今後も行わ

れる可能性があり、議

会で追及し計画を明らかにさせたい。南西諸島や台湾有事を想定した戦争のための訓練は憲法に反し、自衛官となつた町の若者を戦場に送る危険な訓練だということを町民に訴えていきたい」と話しています。